

【栃木県宇都宮市】

背景・課題

- ・旺盛な介護老人福祉施設の整備需要
(市全体：特別養護老人ホーム287名不足)
- ・介護人材の不足
(国全体：37.7万人の需給ギャップ)



特養の事業者公募に際して、立地評価の仕組みを導入

- ・平成27年度から、特別養護老人ホーム（広域型）の新設・増床公募の際、拠点への接近性を基準に追加。
- ・コンパクトなまちづくりに資するほか、交通の利便性が良い拠点への整備を促進することで、介護人材の確保も期待できる。

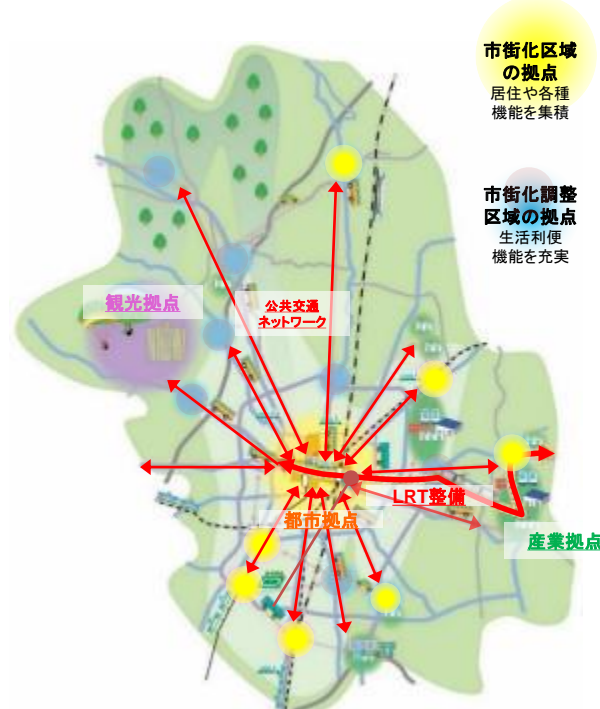
老年人口の推移



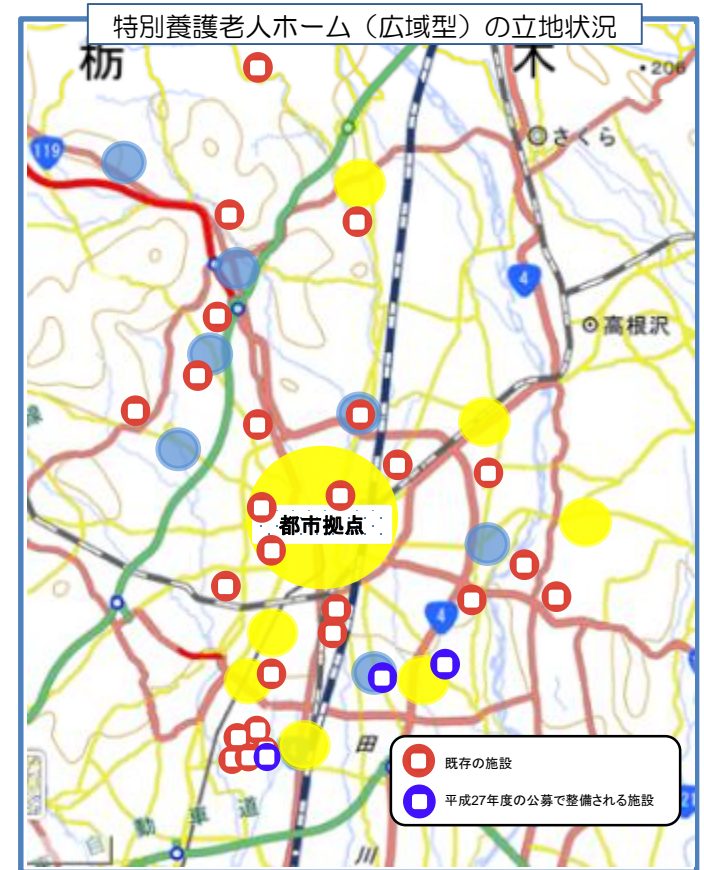
※宇都宮市人口ビジョン（H27.10）より作成

- ・老年人口は右肩上がり
- ・H2：約4万5千人
⇒ H52：約16万人（推計）

ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）概念図



※宇都宮市資料より国土交通省作成



拠点への接近性を基準に追加した結果、平成27年度の公募で拠点内、拠点付近での新設整備（1施設）・増床整備（2施設）を実現